

春陽の候、みなさまにおかれましては、ますますご壮健のことと拝察いたします。

今年度は、校長木村淳、そして、昨年度までは本校の生徒指導主事であった教頭岡村真の二人でこの加賀田中学校を舵取りしていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

さて、4月6日に執り行われた入学式では、「新しいステージに立った時の心構え」と『『思考』と『行動』『think & move』』といった話を式辞としてさせていただきました。以下はその式辞の一部です。

みなさんが今から出会うものは、新しい環境、新しい人間関係、「中学生」という新しい肩書き。期待よりも、不安の方が大きい人もいるでしょう。人は知らない場所に立つとき、必ず一度、立ち止まります。そして、「自分はうまくやれるのか」「失敗しないか」「周りから浮かないか」と考え込んでしまうこともあります。そのことについて皆さんもよく知っているミュージシャンの GACKT（ガクト）さんはこんなふう言っています。

「シンプルに考えろ。その不安の正体はひとつしかない。『まだ何も始まっていない』ただ、それだけだ。思い出してくれ。今までだってそうだったはずだ。初めて何かのステージに立った時。初めて人前で話した時。初めて挑戦した時。最初の一步は、怖かったはずだ。だが、動き出した瞬間に、その恐怖はただのノイズ（雑音）に変わる。新入学も、新学期も、なにか特別な場所じゃない。」そしてこう続けます。「完璧にやろうとするな。好かれようとするな。失敗を避けようとするな。そんなヤツは、一番つまらない。最初に転べ。最初に恥をかけ。最初に否定されろ。そこからしか、本当の強さは生まれない。無傷のまま進もうとするヤツは、途中で必ず止まる。傷を持ったヤツだけが、進み続ける。震えててもいい。迷っててもいい。格好悪くてもいい。だが、止まるな。その一步が、オマエの四月を決める。止まるか、踏み出すか。未来は、オマエの『思考』と『行動』でしか変わらない」と述べ、その上で最後に「動け！」と締めくくりました。

「思考」と「行動」。英語で簡単に言い換えれば「think」&「move」です。まず中学生になったみなさんにはものごとをしっかりと考えてほしいと思います。みなさんのいる身近な社会や世の中はどうなっているのか。自分の立ち位置はどこで、どう動いていけばいいのか。そして、小さくてもいい。一步だけでもいいので踏み出してみよう。そっと踏み出してみよう。そうすれば、ほんの少しでも何かが変わるはず。自分だけの正しい道筋が見えてくるはず。たとえほんの少しだとしても・・・。

みなさんにとってのこれからの中学校生活では、ぜひこの「think」&「move」を思い出し、一人ひとりの素晴らしいオリジナルな道筋をつくってくれることを期待しています。

といった内容でした。本来なら「行動」は「act」や「action」かもしれませんが、ここでは引用の中に「動け！」とありましたので、敢えて「move」を使いました。新入生だけでなく、これからの加中生には是非とも「考えて」そして「動く」ことができる人になってほしいと思っています。

本年度も保護者のみなさまには、教職員とともに、全ての加中学生のために、ご支援賜りますことをお願い申し上げます。